

福井県若狭地方における 地域志向型アートプロジェクト

概要

知覚する風土 — 若狭の自然と文化をめぐるインスタレーション

本プロジェクトは、福井県若狭地方の自然や文化、そして地域固有の素材や技法を生かした参加型のアートインスタレーションです。若狭塗、熊川宿（鯖街道）、若狭湾、三方五湖などの風土をめぐる現地調査を重ね、自然とともにある暮らしの中から育まれてきた地域文化を、造形として空間に立ち上げました。

展示空間では、若狭塗箸の製造過程で生まれる端材「ぺっちゃん」や、地元企業から提供された布地を用いて、リアス式海岸の起伏ある地形を再構成しました。布の上を「ぺっちゃん」が滑る音や動き、布越しに伝わる触感、揺れに耳を澄ませる体験など、来場者は五感を通して空間と対話しながら、若狭塗が育まれてきた風土や背景に思いをめぐらせることができます。ここでは、地域の物語を「知覚の場」として空間化することで、来場者に新たな視点から福井を体験してもらうことを目指しました。

本展示は、福井県立美術館にて開催された「まるまるつながるアートてんまる」の関連企画展として実施されました。

基本情報

担当教員学科
芸術文化学科

担当教員氏名
佐々木一晋

プロジェクト実施期間
2024年10月 | 現地リサーチ
2024年12月21日-22日 | アートイ
ンスタレーション（福井県立美術館）

プロジェクトの実施拠点
福井県若狭地方（現地調査）
福井県立美術館（ワークショップ・展
示会場）

参加学生の学科
芸術文化学科

参加学生の人数
2024年度：11名
2025年度：10名（現在進行中）

連携先など関係者の人数
仁愛女子短期大学生生活科学学科 吉村
ゼミ：7名
SH ARCHITECTS & DESIGN

株式会社内藤：数名
株式会社ニシヤマ：数名
株式会社マツ勤：数名
森木地店：数名
株式会社若狭塗センター：数名
若狭塗箸協同組合：数名
福井県文化課
福井県立美術館
NPO法人若狭美&Bネット

参加学生の学年
3年生

主な連携先について
仁愛女子短期大学生生活科学学科 吉村
ゼミ
株式会社内藤
株式会社ニシヤマ
株式会社マツ勤
森木地店
株式会社若狭塗センター
若狭塗箸協同組合
福井県文化課
福井県立美術館
NPO法人若狭美&Bネット
SH ARCHITECTS & DESIGN

プロジェクト全体の関係図

